

仙台市議会だより

sendai city assembly

第 160 号

平成25年

第1回定例会号

<http://www.gikai.city.sendai.jp>

2013年(平成25年)5月発行

発行 仙台市議会

編集 仙台市議会広報委員会

TEL (214) 6169 青葉区国分町3-7-1

年4回発行



子ども議会

本町通小学校6年生78名による子ども議会を1月17日(木)に開催しました。

子ども議会は、実際の議員等の席に座って議員等の役割を演じ、模擬体験するものです。

平成15年11月から延べ35回開催しています。

平成25年度当初予算を含む80件の議案を可決

3/15	3/5	3/1	2/28 ~3/14	2/27	2/22・ 25・26	2/20 ・21	2/14
本会議	本会議	本会議	予算等審査 特別委員会	常任 委員会	本会議	本会議	本会議
・人事案件 ・予算等審査特別委員会 委員長報告 ・常任委員会委員長報告 ・討論 ・議案の採決 ・意見書の採決 など	・追加議案の委員会付託	・先議議案の採決 ・追加議案の説明	・予算等議案の審査	・予算等議案以外の審査	・一般質問20人	・代表質疑6人	・人事案件 ・議案の採決・決議の採決 ・議案の提案理由説明

定例会会期日程

市民のみなさまへ

第1回定例会

今定例会では、平成25年度の予算案等80議案を審議しました。初日には、2月12日の北朝鮮の核実験に抗議する決議を全会一致で可決し、迅速に本市議会の意思を表明しました。

代表質疑では、復興公営住宅の整備や農業再生、地域の防災力の向上など各復興事業の進め方について、また一般質問では大気汚染問題や地域安全対策など、市政全般について幅広く質疑がなされました。

さらに、予算等審査特別委員会では、復興計画の折り返しの年となる平成25年度の予算案を10日間にわたり審査し、復興とその先を見据えたまちづくりのあり方について、活発な議論を交わしました。

新人議員研究会の開催

2月4日、5日に本市議会議員を含む東北の主要8都市の新人議員が、本市の研修所を会場に第1回目の研究会に参加しました。これは、議員としての能力向上などを旨として開催されたもので、本市議会の発案で今回初めて実現したものです。

議員報酬削減の継続

本市議会では、復興に取り組む本市の財政状況を考慮し、平成24年度の議員報酬を削減してまいりましたが、平成25年度においても、引き続き復興財源を確保するため削減措置を継続いたします。

今後とも、市民の皆様と手をとり合いながら、本市の再生に全力を尽くしてまいります。

仙台市議会

議長 佐藤 正昭
副議長 木村 勝好

定例会の流れ

本会議	委員会	本会議
開会 議長の開会宣言で会議が始まります。	常任委員会 (5委員会) それぞれ所属する議員が専門的に審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	提案説明 市長および議案を提出した議員が議案の提案理由を説明します。
代表質疑 各会派の代表議員が議案について質疑し、提案者に説明を求めます。	予算等審査 特別委員会 議員全員で構成し、一問一答方式により詳しく予算等について審査の上、委員会としての賛成・反対を決定します。	一般質問 25年度予算について詳しく審査するために、予算等審査特別委員会を設置して付託します。その他の議案は、常設の五つの常任委員会に付託します。
討論 議長が閉会宣言で会議が終了します。		委員会付託

目次

市民のみなさまへ	1面
定例会会期日程	
定例会の流れ	
主な議案の紹介	
意見書・決議	2面
代表質疑	2・3面
常任委員会審議の概要	4面
一般質問	4・5面
用語解説	5面
予算等審査特別委員会	6・7面
会派別議案賛否一覧表	
会派別所属議員	
仙台市議会の災害対応	
本会議での一般質問に 一問一答方式を導入します	
次回定例会のお知らせ	8面
編集後記	

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。
20名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党・仙台

やしろ 美香 議員

問 支倉常長出帆400年に当たり、国宝「慶長遣欧使節関連資料」等、本市が持つ歴史資産のさらなる活用を検討すべきと考えがいかがか。

答 博物館所蔵の本資料が平成25年5月に決定するユネスコ世界記憶遺産に推薦されており、観光資源としても幅広く活用していききたい。

○行政事務の情報化推進状況

○戸籍事務の電算化

○本市の情報セキュリティ対策

菊地 崇良 議員

○政権交代の変化を踏まえた国への制度・予算措置要望

○東北の全被災市町村の先導役である本市の役割

○具体的事業の例示と助言体制で農業の6次産業化推進

○ほ場整備事業の農地集約に伴う換地の現状と問題点

○農業園芸センターへの期待

○放射線測定器の設置

○農業と再生可能エネルギーが両立する恒久的な制度改正

○市長選と参院選の同日実施

加藤 和彦 議員

産学官による新規商品開発や需要の掘り起こし等、復興にとまらない今後の産業振興策について伺う。

答 復興の先にある未来を見据え、再生エネルギーの活用等、持続的発展につながるような積極的に施策を展開したい。

○多様化する消費者と商業振興

一般質問

実態に即した支援に取り組み

○障がい児の放課後ケア事業

○幼児・児童のアレルギー対策

○大気汚染物質飛来への対応

○消費者教育推進への取り組み

嶋中 貴志 議員

通学路の安全対策を強力に推進せよ。

答 通学指導の強化や路側帯のカラー化、横断歩道の整備を行った。今後も警察との連携を深めながら信号機の新設など十分な安全対策を講じる。

○難聴児童・生徒の就学支援

○入札不調問題の要因である生コンクリート不足に対する取り組み

○分譲マンション防災マニュアル作成への各種支援策



八木山動物公園の南門出入口を兼ねたビジターセンター

日本共産党

庄司 あかり 議員

復興特別交付税を活用して浸水区域被災者に対する追加支援を判断すべき。

答 現行支援制度の範囲を超える部分は、生活再建支援制度で対応すべきと考える。

○浸水区域からの移転先の造成・ライフライン整備を市で

○現地再建に家屋修繕助成を避及も含め適用し支援せよ

○集会所等の公共施設と兼用できる津波避難施設の検討を

○危険区域に避難施設整備をふなやま 由美 議員

市民生活の再建のため、所得保障と雇用の安定化を市の経済政策の基軸に据えよ。

○低炭素都市実現とごみ再資源化への取り組み

○地元企業の海外進出支援と自治体事業の海外展開

野田 謙 議員

各団体が管理する市民利用施設について、同種施設でも窓口や担当局が異なる。利便性向上のための窓口一本化や組織見直しを行うべき。

答 利用者の立場に立つ運営が大切であり、市民が利用しやすい施設となるよう早急に検討し、取り組んでいきたい。

○復興実感に向けた百万都市仙台的役割と意欲

○姉妹・友好都市との絆と交流

○中心市街地の有効活用



農業復興の拠点として期待される農業園芸センター

市民フォーラム仙台

加藤 けんいち 議員

市民の財産を守るため、外国資本による土地所有の実態調査の実施と売買・利用ルールの整備が必要ではないか。

答 各部署の情報連携し、実態把握に努め、必要な場合は国に立法措置を要望したい。

○地域防災活動への支援強化

○原子力災害の対応における情報伝達とは県との一元化を

○仙台市青少年育成推進指導員連絡協議会への支援

○SNS活用による行政広報

岡本 あき子 議員

一括交付金の見直し・廃止等地域主権改革に逆行する懸念への市長の所見を伺う。

答 地方の主権がより発揮

できる制度改革となるよう状況を注視し必要な意見を述べたい。

復興公営住宅は孤独死防止

「コミュニティ」の継承など整備・入居への配慮を求め

○防災力向上マシソン認定制度は実効が上がるものに

○原子力災害対策計画は県任せにせず市独自の判断を



整備・入居に配慮が求められる復興公営住宅（写真は北六番丁復興公営住宅）

復興仙台

鈴木 勇治 議員

秋保等西部地域で民間企業が農業の6次産業化施設を計画している。地域活性化のため積極的に支援すべき。

答 立地の手続きのサポートや資金面でのアドバイスなど積極的に支援していく。

○小中学校部活動の全国大会等の派遣費補助増額を。

○上限引き上げや要件の緩和を行う予定である。

高橋 次男 議員

JR南仙台駅東西自由通路は、地区住民にとって重要な歩行通路である。高齢者や障がいのある方々のためにも、エスカレーター・エレベーターを早急に設置すべき。

答 課題について引き続きJR東日本と協議しながらエレベーター等の設置の実現に向けて検討を深めていく。

○仙台ふるさと偉人伝の出版

○微小粒子状物質PM2.5

○消防はしこ乗り木道り隊育成

審議の概要

渡辺 博 議員

○人口の偏在等が起きている本市において、均等あるまちづくりに向け、インフラ網の整備等の積極的関与を

○防犯協会等の仕組みの堅持や暴力団排除条例の制定で

市民の安心・安全の確保を

○新しい大都市像の実現に向け、庁内体制の構築と近隣自治体との協力・連携を

○外郭団体の活性化に向け、団体職員の評価方法や市職員との人事交流等の検討を



災害時のペット対策等、動物愛護施策の推進を

公明党

佐藤 和子 議員

少子化対策として重要な不育症の周知啓発と不育症患者への経済的支援をすべき。

答 的確な情報提供に向け関係機関と連携し情報内容の充実を図る。経済的支援については国の動向を注視したい。

○「青山くん」の本格運行に向けた地元検討会のあり方

○八木山動物公園のバリアフリー化とエゴ等の取り組み

○地下鉄に女性専用車両導入を

○福島被災者への支援強化

小野寺 利裕 議員

災害時要援護者に対する支援は緊急課題である。今後高齢化が進む中、高齢者に頼らざるを得ない地域に対する本市の対応について伺う。

答 多くの地域で支援体制が確立されるよう参考事例の発掘や丁寧な助言など地域の

○震災後の雇用の実情、特に過酷なサービス残業の把握

○国の公共事業増加による人員不足と本市復興への影響

○新たな歩道整備のあり方

○市長選・参院選の同日実施



地域の拠点として存続が求められる東六郷小学校

みんなの党・みんなの仙台

及川 英樹 議員

うつ病等の精神疾患は誰でもかかるもの。正しく理解し偏見をなくす取り組みを

○気軽にアクセスできるフェイスマスク等を利用し、精神疾患の情報の受発信を

○精神疾患の治療には長い時間を要することもある。復職後の社会復帰状況等を把握するための調査を

○園芸療法など自然治癒力を高める治療法も取り入れ、効果的な精神疾患対策を

早坂 あつし 議員

○低線量被ばくの影響調査のための甲状腺・内臓被ばく検査と助成制度の実施

○市民に負担をかけず財源を確保するためのネーミングライツ（命名権）の導入や新たな視点による今以上の広告活用事業の促進

○未来を創る子どもたちに対する「コミュニケーション教育」や「倫理教育」のあり方と当該教育に係るフロアムの開発・実施

小野寺 淳一 議員

地域の防災力を高めるため、町内会加入を促すよう賃貸集合住宅の管理会社や不動産会社に働きかけるべき。

答 地域行事への参加呼び掛けやパンフレット配布等により加入促進に努めていく。

常任委員会

審議の概要

平成25年2月27日開催

委員会に付託された議案番号を各常任委員会名の隣にまこめて記載しています。

また、各議案名は8面の会派別議案賛否一覧表をご覧ください。

市民教育委員会

市民局・教育委員会を所管

付託された議案番号
（第41・50・51・54・57・58・61号）

〈付託議案審査〉

付託された学校条例改正案ほか6議案のうち、第51号議案および第54号議案は賛成多数で、その他5議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○（仮称）錦ケ丘小学校児童数の推計

○学校職員退職手当減額の経緯

○新しい学校給食センターの整備手法

経済環境委員会

環境局・経済局・農業委員会・ガス局を所管

付託された議案 なし

〈経済局からの報告〉

・仙台・宮城・茨城・千葉・東京・神奈川の開催について

〈その他の主な質問項目〉

○「仙台のタベ」における地元食材紹介

○本市の漁業者の生業再建への支援

○大震災を教訓としたガソリンの供給姿勢

○損壊家屋の解体申請期限の取り扱い

○農業者の経営再開マスタープラン作成

○「伊達な鍋・美味いもんひらば」PR

総務財政委員会

総務企画局・復興事務局・財政局・消防局・その他を所管

付託された議案番号
（第31・33・39・62・議第2号）

〈付託議案審査〉

付託された市税条例改正案ほか9議案のうち、第34号議案、第36号議案、第38号議案、第39号議案および第62号議案は賛成多数で、その他5議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○復興特別所得税等の復興への充当

○区選挙管理委員の日額報酬制への改正

健康福祉委員会

健康福祉局・子供未来局・市立病院を所管

付託された議案番号
（第32・42・43・45・47・52・59・60号）

〈付託議案審査〉

付託された子ども・子育て会議条例ほか8議案のうち、第47号議案および第52号議案は賛成多数で、その他7議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○子ども・子育て会議の委員選考基準

○保育所の廃止と民間保育所の新設

○重度障害者福祉手当廃止と今後の施策

都市整備建設委員会

都市整備局・建設局・水道局・交通局を所管

付託された議案番号
（第48・49・53・55・56・63・68・70号）

〈付託議案審査〉

付託された市営住宅条例改正案ほか8議案のうち、第48号議案は賛成多数で、その他8議案は全会一致で原案のとおり、本会議で可決すべきものと決定しました。

〈付託議案の質疑項目〉

○市営住宅整備基準の具体的な改正内容

○市営住宅と周辺地域コミュニティとの融合を図るための取り組みについて

○市営住宅入居収入基準のあり方

用語解説

本文中に青文字で表記した用語を解説しています。

●デスティネーションキャンペーン（注1）（2面3段 4面5段）

平成25年4月1日から6月30日まで「笑顔咲くたび伊達な旅」をテーマに展開する観光キャンペーン。

●せんだいE! Action（注2）（2面3段）

省エネ・創エネ・蓄エネの3Eをキーワードに市民・事業者・行政が協同で取り組む環境啓発運動。

●認定こども園（注3）（3面3段）

教育と保育の一体的提供等を行う幼稚園や保育所等。知事が認定。

●6次産業化（注4）（4面1段 4面3段 7面5段）

農林水産物の生産・加工・販売を一体的に行うこと。

●SNS（注5）（4面2段）

ソーシャル・ネットワーク・サービスの略。インターネットを通じて、双方向のコミュニケーションを支援するサービスのこと。

●PM2.5（注6）（4面3段）

大気中を漂う2.5マイクロメートル以下の微小粒子状物質。肺の奥まで入りやすく、肺がんやぜんそくを引き起こす懸念がある。

●不育症（注7）（4面4段）

妊娠はするものの2回以上の流産、死産もしくは早期新生児死亡を起こしてしまう病気。

●青山くん（注8）（4面4段）

青山区の公共交通確保に向けた実験バス。平成22年10月に、JR長町駅東口から東北工大八木山キャンパスまで試験運行した。

●コミュニティサイクル（注9）（6面2段）

一定の地域内に複数配置された駐輪施設で、自転車自由に借りて返却ができるシステム。

●仙台のタベ（注10）（4面5段、5面3段）

首都圏でのシテイセールのため、東京で開催されるイベント。

●フェイスブック（注11）（5面3段）

登録した参加者同士がネットワ

予算等審査 特別委員会

委員長 嶋中 貴志
副委員長 大槻 正俊

本委員会は、全議員55名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・費目ごとに一問一答形式で質疑を行います。

委員会は、2月28日から10日間開催され、延べ81名の委員が約37時間にわたり審査を行いました。
主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

自由民主党・仙台

赤間 次彦 委員

問 新たな大都市制度の実現に当たっては、東北の各都市との協議・連携が重要。職員体制を充実し積極的に取り組むべきだがいかがか。

答 大都市制度創設を市政の重点課題として認識し、職員増は困難だが専任職員の配置等に工夫してまいりたい。○キャラクターを活用した復興のシンボルづくり

問 被災した消防ヘリポートの再整備に当たり、県の宮城野原の防災拠点構想を踏まえて、改めて市内への立地について検討すべき

答 消防の常設ヘリポートは安全運航や騒音等法令上の制限があり、市内に適地がないため、やむなく利府町に整備することとしたものである。○市の係長昇任試験のあり方

問 霊屋トマンシヨン建設問題を含め、本来、景観に関する市の対応は、関係部局が一体となって取り組むべき。仙台的街づくりにおいて憲法ともいえる「広瀬川の清流を守る条例」は過去の議会答弁も踏まえて、その趣旨を遵守し施行すべきだがいかがか。



暫定拠点の仙台空港で活動する消防ヘリコプター

伊藤 新治郎 委員
問 動物園へのジャイアントパンダ導入に関して中国側との協議の現状について伺う
答 25年3月現在、具体的協議は行っていない状況である。○日中両国間の問題もある中、パンダ導入はいったん保留とすべきだがいかがか。
答 良好な両国関係が協議の前提であり、今後の情勢を見守りつつ、取り組みたい。

菊地 崇良 委員

○子供を守り育むため学校・家庭・地域の連携が重要な小中学校連携・学校支援地域本部の機能強化等を図れ
○連続する教員不祥事の根絶
○災害時の情報の収集と整理力を向上させ、確実に機能を発揮できる態勢を整えよ
○都市の整備には防災の視点を○原子力災害対策と広域避難○防災条例制定の必要性

問 副読本を活用した郷土に誇りが持てる歴史教育のあり方について伺う。
答 教科書を補完し、身近な事柄から地域の歴史に興味を持てるよう工夫している。○市博物館を活かした学習の取り組みについて伺う。
答 市民ボランティアの協力のもと、子供たちの感性に直接働きかける学びの場にしたい。

問 ほとんどの政令市・県内市町村において、住民の安心・安全確保のために暴力団排除条例が制定されているが、本市では議論もされていない。早急に条例を制定すべき。
答 暴力団は善良な市民生活に脅威を及ぼす存在であり、全国的にも暴力団排除の機運が高まっている。早期の条例化に向けて、検討を開始していきたい。

公明党

会計・費目別の主な質疑項目
〈健康福祉費〉

問 発達障がいへの理解を深めるための冊子の作成を。他都市の事例等を参考にリーフレット等を作成する。○保育コフレシヨンやメール出張相談で保育情報提供を。障がい者の日常生活用具拡充○斎場の待合室利用のあり方○産後健診に受診券活用○就学支度資金貸付制度拡充と個別相談窓口の体制強化

〈環境費〉
○都市鉱山リサイクル制度
○集会所も、地域で検討できる補助避難所の位置付けに
○法務局と連携を強化し、いじめ相談体制の拡充を
○不登校児童の保護者の心のケア強化と進路選択の拡充
○LD（学習障がい）・ディレクシアへの対応

○支倉常長慶長遣欧使節出帆400年事業について
○秋保工芸の里活性化支援事業の工人見習育成期間延長
○公共施設に公衆無線LAN

日本共産党

ふるくぼ 和子 委員

○敬老乗車証の新制度では障害者は新たに乗降時の手帳提示が必要。直ちに改善せよ
○乗車証の限度額制をやめよ
○使用済み乗車証も使用残額に応じ払い戻しすべき
○難病対策の充実について

問 保健師等を増員し被災者に対する生活支援の強化を。引き続き人員体制の充実を図りながら支援を行う。○商店街イベント事業助成は増額した基準を継続すべき
○中小企業金融円滑化法の延長
ふなやま 由美 委員

○国民健康保険料の前年度比5億円増とする予算は問題。国民負担や一般会計繰り入れを増やし保険料を引き下げよ

フリーソフトの重点整備を

○歩道の安全対策と段差解消等バリアフリー化への対応
○「復興定期便」や「みらいん」を活用した東部沿岸地域の旧町内会への情報提供
○浦生北部区画整理事業の計画策定は、丁寧な説明と対応で合意形成を図るべき

問 空間放射線量を測定するモニタリングポストの早期整備について市長の認識を伺う。
答 速やかに整備方針を取りまとめ早期整備に努める。○津波情報伝達屋外拡声器
○集会所も、地域で検討できる補助避難所の位置付けに
○法務局と連携を強化し、いじめ相談体制の拡充を
○不登校児童の保護者の心のケア強化と進路選択の拡充
○LD（学習障がい）・ディレクシアへの対応

○国保事業は社会保障制度との認識の下、資格証明書や差押えの運用強化をやめよ
問 本市の就学援助認定基準額は17年間同額の390万円。政令市で最低水準である。抜本的に引き上げよ。
答 国の動向や他都市の状況も踏まえて、経済的な理由から就学が困難となった世帯に対する支援を適切に行う。
高見のり子 委員
本市とJRは岩切駅・福田町駅等バリアフリー化を先送りせず早急に対応すべき
答 今後JRと協議・調整を行いながらバリアフリー化への取り組みを進めたい。
すげの直子 委員
標準学力検査は中止して少人数学級や教員の加配等子どもに寄り添える体制を○スクールソーシャルワーカー



空間放射線量を定期的に、連続的に監視測定するモニタリングポスト（宮城野区）



被災者支援の充実強化を

市民フォーラム仙台

渡辺 敦信 委員

問 企業内研修など営利を目的とする市営スポーツ施設の会議室利用は一般と異なる料金設定にすべきではないか。
答 他施設との均衡や復興状況などを勘案し検討したい。○災害復旧工事の早期完了を○歩道橋の除雪・凍結防止対策

加藤 けんいち 委員
○敬老乗車証新制度導入後の確実なフォローを求める
○災害時要援護者支援プランは要援護者の把握と支援の輪を広げる施策の展開が必要
○避難所等の太陽光発電システムにV2Hを採用し、併せて補助制度による普及を

復興仙台

渡辺 博 委員

○外郭団体との人事交流により組織力向上と人材育成を○柔道、剣道、相撲に加え、他武道も武道教育で実施を○茶道や生け花など伝統文化を日常に活かしていくため市民・関係団体と連携する等、前向きな取り組みを○標準学力検査の結果公表等による学校間競争の促進や学力向上に向けた児童生徒への指導および教員の加配等

問 地元商店街など地域の活性化のためにも、仙台89ERSがゼビオアリーナ仙台を本拠地として利用できるよう、新たな支援策を構築すべき。
答 89ERSへの助成は困難だが支援策を検討したい。
跡部 薫 委員
まちづくり視点の防災

社民党

ひぐち のりこ 委員

問 保育料算定に際しては未婚の母子家庭に対し、寡婦控除のみなし適用を。
答 寡婦控除制度のあり方等を考慮し、慎重に検討する。○本市の障がい者雇用促進策○地下鉄東西線（仮称 荒井駅舎上部）の保育施設事業○「伊達美味」PRと事業展開



仙台が育んできた料理や食材を集めた「伊達美味」で食の魅力のPRを

問 全浸水被災者を対象とした独自支援策拡充を求める。他市町の検討状況を注

みなみの発みなの仙台
及川 英樹 委員
○インフルエンザやノロウイルス等に関する予防啓発の徹底と緊急時の情報発信
○水痘等の予防接種への助成
○妊婦等の風しん予防対策強化
○インターネットによる医薬品購入への本市の対応
早坂 あつし 委員
○移動販売車両の活用等により屋台文化を実現すれば、復興事業の一助となり経済効果も大きいのではないかと仙台の素晴らしさを広めるため、子どもや若い世代も視野に入れた選曲を
小野寺 淳一 委員
○市民に分かりやすい地域防災計画の概要版の作成を○杜の都防災メールで家員転

佐藤 わか子 委員

○市職員の意向向上につながる新たな人事評価制度を○横浜市内で実施している管理職の庁内公募制の導入検討を○地域福祉の向上にはCSWの展開と市社会福祉協議会が地域社会の担い手という自覚と責任を持つことが必要

渡辺 公一 委員
○投票率が毎回低下傾向にある市議会議員選挙における選挙管理委員会の投票率向上に向けた取り組み
○災害時の福祉避難所の重要性は高まっている。震災の経験を踏まえて機能および人員体制の充実を図るべき

小野寺 健 委員
問 新市民利用施設予約システムの突然の稼働延期は、工程の確認等市職員の監理の

復興仙台

体制で災害時要援護者支援を。まちづくりを含め、防災体制の構築を支援していく。○地域包括支援センターの強化○介護報酬改善と人材確保○高齢者福祉施設待機者対策

橋本 啓一 委員
○農業用施設の維持管理マニュアル作成とアセットマネジメントで計画の更新を○将来ビジョンを明確にした農業のマスタープラン策定を○施設の維持管理は本庁と区の明確な役割分担と連携で

岡部 恒司 委員
問 資機材や職人の不足、単価高騰等のため地元建設業者が入れ参加できず入札不調が続いている。早急な対策を。
答 復興が遅れないよう、実態把握や国・県との強力な連携により迅速に対応したい。○あすと長町整備事業の総仕上げ時期を迎える今後の事業計画と事業費について

問 資機材や職人の不足、単価高騰等のため地元建設業者が入れ参加できず入札不調が続いている。早急な対策を。
答 復興が遅れないよう、実態把握や国・県との強力な連携により迅速に対応したい。○あすと長町整備事業の総仕上げ時期を迎える今後の事業計画と事業費について

視しながら、自治体間格差も考慮し総合的に精査したい。○電気・灯油値上げの本市施設と市民生活への影響と対策○学校施設開放の鍵の管理策OPF事業の諸課題と対策○区民まつり等の活性化策
石川 建治 委員
○学校給食での食糧アレルギー対応方針と誤食や配膳ミス防止のチェック体制
○災害時におけるアレルギー患者への支援体制整備を○市営バス・地下鉄の増営・増収の拡充策
○サイクルアンドバスライド導入で公共交通との連携を
小山 勇朗 委員
問 中小企業金融円滑化法終了後の本市の支援を求め。
答 資金繰りや経営改善計画の相談窓口を設置し、丁寧な対応を行う。また融資制度を活用した支援の強化を図る。○原子力災害対策編の充実を○復興再生と6次産業化支援○復興事業の多重下請禁止を

自由民主党

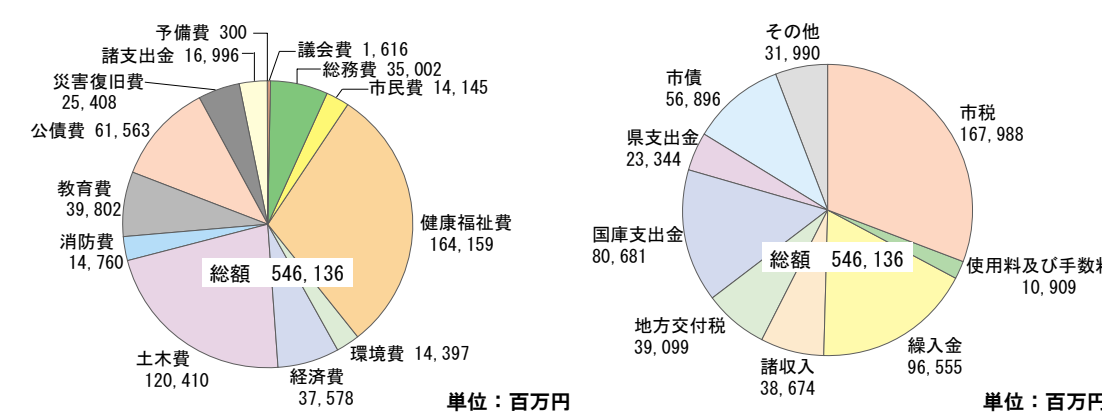
大泉 鉄之助 委員

問 電気料金値上げに対し、被災地の先導者たる市長は早急に事業者と国に抑制策と被災者への支援を求めよ。
答 事業者への要請に加え、国にも赴き直接要望したい。○東部復興道路には「広村堤防」の実例に学び、防潮の効果が高い混合樹林の植樹を



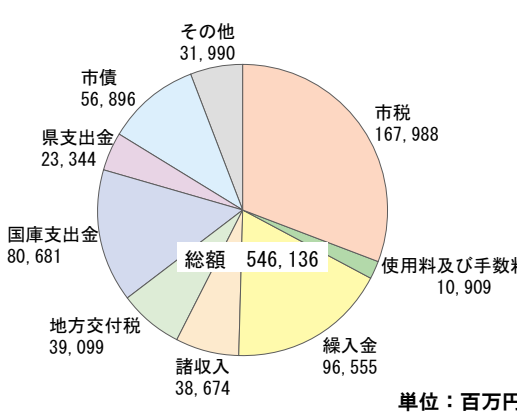
昭和南海地震の津波から住民を守った「広村堤防」（写真提供：和歌山県広川町）

平成25年度 一般会計歳出予算費目別内訳



単位：百万円

平成25年度 一般会計歳入予算費目別内訳



単位：百万円

平成25年度 市税の内訳

	当初予算額	構成比 (%)	対前年度比 (%)
市民税	78,990	47.1	109.4
固定資産税	61,616	36.7	101.7
軽自動車税	1,061	0.6	109.0
市たばこ税	8,780	5.2	122.0
鉱産税	1	0.0	114.7
特別土地保有税	0.1	0.0	100.0
入湯税	195.5	0.1	105.6
事業所税	4,743	2.8	99.7
都市計画税	12,601	7.5	100.4
合	167,987.6	100.0	106.0

単位：百万円



仙台市にゆかりがあるシダレザクラの八重紅枝垂（ヤエベニシダレ）

結果して解決の道を模索したい。

日下 富士夫 委員

○コミュニケーション維持重視の復興公営住宅の公募買い取り
○災害時要援護者支援の実践的な訓練に行政サポートを○海岸公園の再整備でかさ上げ道路への八重紅枝垂の植樹
○泉中央駅前の改修や交通結節強化で地下鉄乗車率向上を

○町内会等との連携で杜の都防災力向上マンシヨン認定制度と分譲マンシヨン防災マニュアルの作成の推進を
○震災復興基金の充実とより効率的な組織体制の構築を○外郭団体への事業委託と人材育成を検討し見直すべき
○老人クラブや区民まつりの支援のあり方を再考すべき
○監査委員の選任等、重要な人事の承認を議会に求めるときは当局は十分な説明を

会 派 別 所 属 議 員															
平成 25 年 3 月 15 日現在															
自由民主党・仙台															
西澤啓文	斎藤 夫	加藤 彦	菅原 健	やしろ美香	鈴木 繁雄	伊藤 新治郎	赤間 次彦	佐藤 昭彦	野田 正 稔	田村 崇 良	菊地 崇 良	市民フォーラム仙台			
日下 富士夫	安孫子 雅 浩	岡本 あき子	小野 健	渡辺 公 一	木村 勝 好	佐藤 わか子	加藤 けんいち	渡辺 敬 信							
復興仙台															
鈴木 勇 治	岡部 恒 司	庄司 俊 充	橋本 啓 一	跡部 薫	佐々木 両 道	渡辺 敏 博	柿沼 次 男	高橋 次 男	公明党仙台市議団						
嶋中 昭 一	鈴木 貴 志	鎌田 康 行	小野寺 利 裕	小田島 久 美子	佐藤 和 子	佐々木 真由美									
日本共産党仙台市議団															
嵯峨 サタ子	花 木 則 彰	ふるくぼ 和子	ふなやま 由美	高見 のり子	すげの 直 子	庄司 あかり	社民党仙台市議団								
小山 勇 朗	大槻 正 俊	石川 建 治	相沢 和 紀	ひぐちのりこ	みんなの党・みんなの仙台										
柳 邦 彦	早坂 あつし	小野寺 淳 一	及川 英 樹	自由民主党											
大泉 鉄之助															

会 派 名 ()内は所属議員数												採 決 結 果
議 案 等 []内は議案番号		自由 民主 党・ 仙 台	市 民 フ ォ ー ラム 仙 台	復 興 仙 台	公 明 党 仙 台 市 議 団	日 本 共 産 党 仙 台 市 議 団	社 民 党 仙 台 市 議 団	み ん な の 党 ・ み ん な の 仙 台	自 由 民 主 党			
		(12)	(9)	(9)	(8)	(7)	(5)	(4)	(1)			
平成24年度補正予算案	一般会計(第6号)[1]	○	○	○	○	×	○	○	○	可決		
	一般会計(第7号)[71] 特別会計 ・都市改造事業(第2号)[2]・国民健康保険事業(第3号)[3]・中央卸売市場事業(第1号)[4]・公債管理(第1号)[5]・新墓園事業(第1号)[6]・介護保険事業(第2号)[7] 企業会計 ・下水道事業(第2号)[8]・自動車運送事業(第2号)[9] ・高速鉄道事業(第1号)[10]・水道事業(第1号)[11]・ガス事業(第1号)[12]・病院事業(第2号)[13]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	一般会計[14] 特別会計 ・国民健康保険事業[16]・介護保険事業[23]・後期高齢者医療事業[24] 企業会計 ・高速鉄道事業[27] 特別会計 ・都市改造事業[15]・中央卸売市場事業[17]・公共用地先行取得事業[18]・駐車場事業[19]・公債管理[20]・母子寡婦福祉資金貸付事業[21]・新墓園事業[22] 企業会計 ・下水道事業[25]・自動車運送事業[26]・水道事業[28]・ガス事業[29]・病院事業[30]	○	○	○	○	×	○	○	○	可決		
条例制定案	予算の執行に関する市長の調査等の対象となる法人の範囲を定める条例[31]、子ども・子育て会議条例[32]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
条例改正案	事務分掌条例[33]、特別職の職員の報酬等審議会条例[35]、市長等の給与に関する条例[37]、手数料条例[40]、コミュニティ・センター条例[41]、障害者自立支援法の施行に関する条例[42]、老人憩の家条例[43]、国民健康保険条例[44]、薬事法の施行に関する条例[45]、温泉法の施行に関する条例等[46]、道路占用料条例[49]、学校条例[50]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	職員定数条例[34]、特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例[36]、職員退職手当条例等[38]、市税条例[39]、児童福祉施設条例[47]、市営住宅条例[48]、学校職員退職手当条例等[51]、国民健康保険条例[72]	○	○	○	○	×	○	○	○	可決		
条例廃止案	重度障害者福祉手当支給条例[52]	○	○	○	○	×	○	○	○	可決		
その他議案	財産の取得に関する件[53]、和解に関する件[55]、調停に関する件[56]、指定管理者の指定に関する件[57～61]、市道路線の認定及び廃止に関する件[63]、県道の路線の廃止に係る意見に関する件[68]、市道路線の認定に関する件[69]、有料の道路の料金の徴収期間の変更に係る同意に関する件[70]	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	財産の取得に関する件[54]、包括外部監査契約の締結に関する件[62]	○	○	○	○	×	○	○	○	可決		
	固定資産評価審査委員会の委員の選任に関する件[64]、土地利用審査会の委員の任命に関する件[65]、宮城県公安委員会の委員の推薦に関する件[66]、教育委員会の委員の任命に関する件[73]	○	○	○	○	○	○	○	○	同意		
	人権擁護委員候補者の推薦に関する件[67]	○	○	○	○	○	○	○	○	異議ないものと決定		
議員提出議案	議第1号 政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例 議第2号 特別職の職員の給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	議第3号 市議会会議規則の一部を改正する規則 議第4号 市議会委員会条例の一部を改正する条例											
	意見書第1号 県の乳幼児医療費助成制度の拡充を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
	意見書第2号 東北電力の電気料金値上げに関する件	○	△	○	○	○	○	○	○	可決		
	決議第1号 北朝鮮の核実験実施に対する抗議に関する件	○	○	○		○	○	○	○	可決		

○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 △：議案の採決の際に一部議員退席

平成 25 年第 2 回定例会は、6 月 10 日（月）に開会の予定です。

仙台市議会の災害対応

東日本大震災から2年を迎えるに当たり、本市議会では震災への対応や役割を後世に伝えるとともに、大規模災害時における議会のあり方の参考とするため、震災記録誌「東日本大震災―仙台市議会の活動記録」を発行しました。市政情報センター・区情報センター、市内各図書館のほか、市議会ホームページでもご覧いただけます。

また、将来起こりうる災害に対し、議会として迅速かつ適切に対応できるよう、議会や議員の対応を定めた「仙台市議会災害対応指針」と災害対応の組織を定めた「仙台市議会災害対策会議設置要綱」を2月12日に制定しました。

本市議会は、災害時にも万全の体制で対応してまいります。

お問い合わせ先
議会事務局庶務課
TEL 214・6164

本会議での一般質問に一问一答方式を導入します

本会議での一般質問においては、市政全般にわたる質疑と答弁をそれぞれ一括で行っていますが、市民への分かりやすさや議論の深まりを期して、新たに一问一答方式を導入することとし、これまで議会運営委員会で実施に向けた具体的な運用についての検討を重ねてきました。

このたびは検討結果がまとまり、委員長から議長へ報告書が手渡されました。本年第2回定例会からの導入を目指し、審議の活性化に努めます。



3月8日に行われた報告の様子
(左から木村勝好副議長、佐藤正昭議長、斎藤範夫議会運営委員会委員長、岡本あき子同副委員長)

編集後記

本市議会では、私たち8名の議員で構成する広報委員会が中心となり、市議会だよりをはじめ、ホームページや議会中継のインターネット配信などを活用し、議会の活動を広く市民のみなさまにお知らせしています。

市民と議会の架け橋となる議会広報。今後もその充実を図り、議会を身近に感じていただけるよう努めてまいります。



後列左からすげの直子委員、加藤けんいち委員、やしろ美香委員、跡部薫委員、前列左から佐藤和子委員、橋本啓一委員長、高見のり子副委員長、ひぐちのりこ委員